

日本体育大学

令和8年度入学者選抜 【出題の意図・模範解答】

学部・選抜方式	保健医療学部 整復医療学科 総合型選抜 学部別選考方式Ⅱ期
科目	小論文

【出題の意図】

- ・スポーツにおける信頼関係の意味と重要性について
スポーツの経験を通して、仲間や指導者との信頼が個人やチームの成長にどのように影響するかを具体的に考察できているかを評価する。
- ・柔道整復師・アスレティックトレーナーとして人間関係づくりへの意識について
技術や知識だけでなく、相手との信頼に基づく関わり方が回復やパフォーマンス向上にどのように役立つかを理解しているかを評価する。
- ・自らの体験と将来の専門職としての姿勢を論理的に結びつけられているかについて
自身のスポーツ体験から学んだことを、将来の支援方法や専門職としての姿勢に結びつけ、説得力のある文章にできているかを評価する。
- ・共感力・協調性・責任感などについて
相手を思いやり、チームや地域に貢献しようとする姿勢、専門職としての使命感を表現できているかを評価する。

【模範解答】

私は中学・高校を通じてバスケットボール部に所属し、チーム競技の中で仲間との信頼関係の大切さを強く感じた。練習では技術面の努力だけでなく、仲間を信じ、声を掛け合うことがチーム力を高めると実感した。試合中にミスをした仲間を責めるのではなく励まし合うことで、チームの雰囲気は良くなり、次のプレーで互いに力を発揮できた経験がある。反対に、信頼が欠けるとミスを恐れて消極的になり、チーム全体の動きが悪くなることもあった。この経験から、スポーツにおける信頼関係とは、互いを尊重し支え合うことで個人と集団の力を最大限に引き出す基盤であると学んだ。

将来、私は柔道整復師やアスレティックトレーナーとして、選手や患者との信頼関係を大切にしたい。けがをした人は痛みや不安を抱えており、安心して任せてもらうためには、技術だけでなく心のケアも欠かせない。まずは相手の話を丁寧に聞き、けがの原因や今後の回復の見通しなどを分かりやすく説明することで相手との信頼を築いていきたい。また、けがの治療の際には、本人の意見を尊重し、目標を共有しながら二人三脚で回復を目指す姿勢を持ちたい。さらに、チームの監督やコーチ、マネージャー、トレーナー仲間と連携し、チーム全体で選手を支える体制を整えることも重要だと考える。私はスポーツで学んだ「信頼して支え合う心」を大切に、人と人とのつながりを重視する柔道整復師・アスレティックトレーナーを目指したい。

信頼に基づいた支援を通じて、身体の回復だけでなく、心の安心も提供できる専門職として地域やチームに貢献していきたい。